

平成 25 年 4 月 2 日

各 位

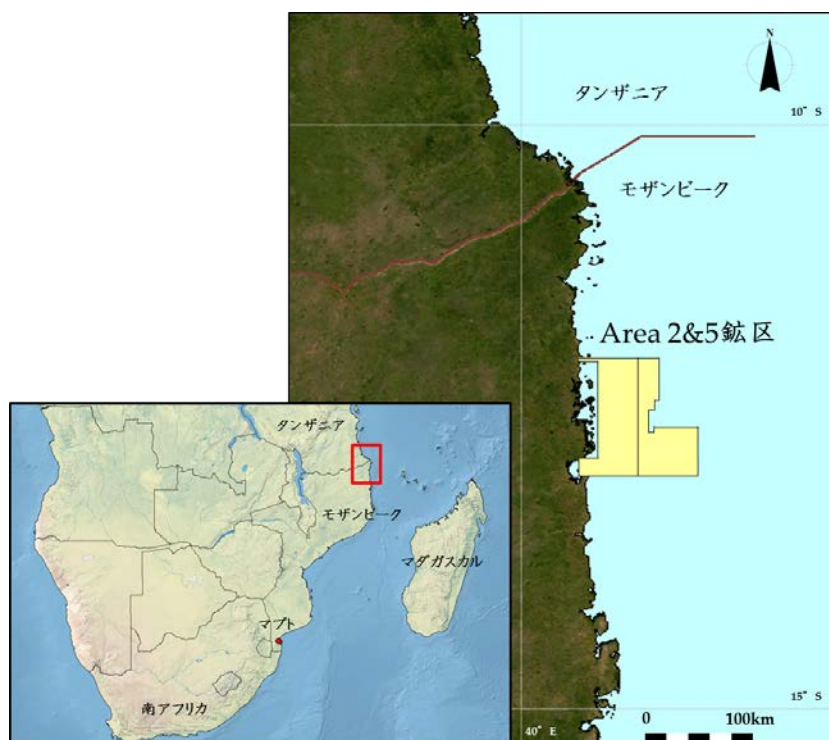
会社名 国際石油開発帝石株式会社  
代表者名 代表取締役社長 北村 俊昭  
(コード番号 1605 東証第一部)  
問合せ先 広報・IR エグゼクティブ・マネージャー 橘高 公久  
電話番号 03-5572-0233

アフリカ モザンビーク共和国  
Area 2 & 5 鉱区権益 (探鉱鉱区) の取得について

国際石油開発帝石株式会社 (以下、当社) は、当社子会社であるインペックスモザンビーク石油株式会社を通じて、モザンビーク共和国沖合に位置する探鉱鉱区である Area 2 & 5 鉱区 (以下、本鉱区) の 25% 権益を、このたびノルウェー王国の大手石油会社であるスタットオイル社の子会社スタットオイル・モザンビーク社から取得することについて合意しましたので、お知らせいたします。

本鉱区への参画は、モザンビーク共和国において当社が手掛ける初のプロジェクトとなります。なお、今回の権益取得は、モザンビーク政府の承認等を含む権益譲渡契約上の先行条件の充足が契約発効のための条件となります。

< 鉱区位置図 >



# 国際石油開発帝石株式会社

## INPEX CORPORATION

本鉱区は、モザンビーク共和国の首都マプト市の北東約 1,750km に位置する沖合鉱区であり、水深は約 300～2,500m、鉱区面積は 8,041km<sup>2</sup>です。周辺海域では、近年、世界有数の巨大ガス田群が発見されていますが、本鉱区では石油の発見も期待される有望なエリアです。本鉱区では、本年中に試掘井 2 坑の掘削を実施する予定です。

今回の権益取得により本鉱区の権益比率は、スタットオイル・モザンビーク社（オペレーター）40%、インペックスモザンビーク石油 25%、タロー・モザンビーク社（タロー社（英）子会社）25%およびモザンビーク国営石油会社（ENH）10%となります。

本プロジェクトへの参画により、当社の石油上流開発事業における資産ポートフォリオが拡充されるとともに、東アフリカ周辺地域を中心とした大水深海域での探鉱作業に豊富な経験や知見を有するスタットオイル社およびタロー社とのパートナーシップ強化が期待されます。

当社は、INPEX 中長期ビジョンにおける当社成長目標の一つである上流事業の持続的拡大のため、今後も大規模な石油・天然ガスの埋蔵量が期待されるフロンティア地域を含む有望地域での新規鉱区や優良資産の獲得機会を積極的に追求してまいります。

なお、本件による当社連結業績への影響は、軽微であります。

### < 鉱区の概要 >

鉱区面積：	8,041km <sup>2</sup>
水深：	300～2,500m
鉱区位置：	モザンビーク共和国の首都マプト市の北東約 1,750km
権益比率：	スタットオイル・モザンビーク社： 40% （オペレーター） インペックスモザンビーク石油： 25% タロー・モザンビーク社： 25% モザンビーク国営石油会社（ENH）： 10%

### < スタットオイル社の概要 >

名称：	スタットオイル社（Statoil ASA）
本社：	ノルウェー王国 スタバンガー
CEO：	Helge Lund
沿革：	1972 年国営企業「スタットオイル」（Statoil）として設立。2001 年以降、部分民営化を段階的に実施。2007 年「スタットオイル」と同国アルミ生産企業（Norsk Hydro）の石油・ガス部門が合併し Statoil Hydro となり、2009 年現社名に変更している。 現在、世界 36 カ国にて石油・天然ガスの探鉱・開発・生産事業等を実

# 国際石油開発帝石株式会社

**INPEX CORPORATION**

	施している。
従業員数：	約 21,000 名
主たる事業	石油・天然ガスの探鉱、開発、生産、輸送、精製および販売事業

以上